

保証とアフターサービス 必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル
0120-1048-76

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど **022-774-5402** (通話料：有料)

FAX **022-224-6801** (通話料：有料)

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書 (別添)

- この東芝クリーナーには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から **1年間**です。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- クリーナーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 6年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 部品共用化のため、一部予告なしに仕様や外観色を変更することがあります。

修理を依頼されるときは

18、19 ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

持込修理

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日
	お買い上げ店名	電話 ()	-	

長年ご使用のクリーナーの点検をぜひ！



愛情点検

このような症状はありませんか。

- スイッチを入れても、ときどき運転しない時がある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 運転中に異常な音がある。
- 運転中ときどき止まる。
- 本体が変形したり異常に熱い。
- ホースが破れている。
- こげくさい“におい”がする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝ホームアプライアンス株式会社

リビング機器事業部

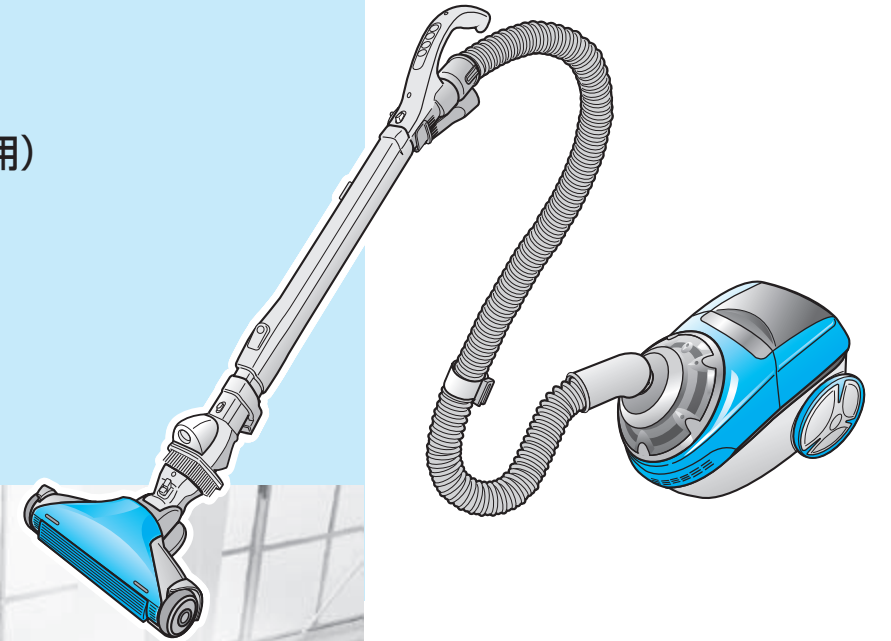
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-15 (東芝昌平坂ビル)

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝クリーナー (家庭用) 取扱説明書

形名

VC-3000X



- このたびは東芝クリーナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- 包装に使用しているダンボールは、分別の上、リサイクルにご協力をお願いします。

もくじ

安全上のご注意	2～3	お掃除の前に
お願い	4	
各部のなまえ	4～5	
お掃除のしかた	6～8	お掃除のしかた
付属品の使いかた	9～10	
お掃除のコツ	11	
ゴミの捨てかた	12	お掃除の後に
お手入れ	13～17	
抗菌の効果	16	
仕様	17	このクリーナーは
本体・床ブラシの回転部が止まったら	18～19	
お困りのときは	18～19	
保証とアフターサービス	20	

日本国内専用
Use only in Japan

安全上のご注意

必ずお守りください

●商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

警告 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*¹を負うことが想定されること」を示します。

注意 「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷*²を負うことが想定されるか、または物的損害*³の発生が想定されること」を示します。

- * 1：重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- * 2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- * 3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

警告

火災・感電を防ぐために

- 異常・故障時には直ちに使用を中止する**
- スイッチを入れても、ときどき運転しない時がある。
 - 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
 - 運転中ときどき止まる。
 - 運転中に異常な音がする。
 - 本体が変形したり異常に熱い。
 - ホースが破れている。
 - こげくさい“におい”がする。
- （発煙・発火・感電の恐れあり）
すぐに「切」スイッチを押し、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

電源・電源プラグ・電源コードは正しく使う

- 電源は交流100V 定格15A以上のコンセントを単独で使う
・火災・感電の原因。
- 電源プラグとコンセントのほこりなどはプラグを抜き、定期的に乾いた布で拭き取る
・感電・発熱による火災の原因。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
・感電・発熱による火災の原因。
- ゴミ捨て時やお手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
・感電・けがの原因。

- 電源コード・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
・感電・ショート・発火の原因。
- 電源コードは黄マーク以上引き出さない
- 電源コードを傷つけない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、たばねない、加工しない、重い物をのせない、挟み込まない
・電源コードが破損し、火災・感電の原因。
- 電源コードを床ブラシの回転部に巻き込まない
・電源コードの損傷により、火災・感電の原因。
- 電源プラグはぬれた手で抜き差ししない
・感電・けがの原因。

- 水まわりや風呂場では絶対に使わない
・感電の原因。

本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部・お手入れカバーを除く）・ピカッとどこでもブラシ（ブラシ毛部を除く）は絶対に水洗いしない
・感電・故障の原因。

- 灯油、ガソリン、シンナーなどの引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物を吸わせない
・火災の原因。

- 絶対に改造はしない
また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
・火災・感電・けがの原因。修理はお買い上げの販売店または、東芝生活家電ご相談センターにご相談を。

図記号の説明

- は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
- は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告

けが・やけどを防ぐために

- ふたが開いているときは、ふたを持って本体を持ち上げない
・本体の変形・けがの原因。

- 床ブラシ・床ブラシの回転部・自動停止装置など底面や、本体の排気口付近・本体内部のギアには触れない
・手など、けが・やけどの原因。
・特に小さなお子さまにご注意ください。

注意

火災・感電・ショートを防ぐために

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く
・プラグの刃の変形、電源コードの断線による感電・ショート・過熱により発火の原因。
- 電源コードは、まっすぐ引き出す
・電源コードを上引っ張りながら引き出すと本体の引き出し部とのこすれにより、電源コードが損傷します。
・感電・発火の原因。
- クリーナーを使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く
・けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

- 吸込口をふさいで長時間運転しない
・過熱による本体の変形・発火の原因。
- 引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使わない
・爆発・火災の原因。
- 排気口をふさがない
・火災の原因。
- 本体にあるホース差込口、ホース、伸縮延長管の接点にピンや金属類などを入れない
・感電・破壊の原因。
- 破れや傷のあるホースは使わない
・感電の原因。
- 火気に近づけない
・本体や電源コードなどの変形によるショート・発火の原因。

- ダストカップ・ブリーツフィルターは正しく取り付ける
フィルターが破れたり、古くなったときは交換する
・モーターの発煙・発火・故障の原因。

けが・破損を防ぐために

- 電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持って行う
・電源プラグがあたるけがの原因。

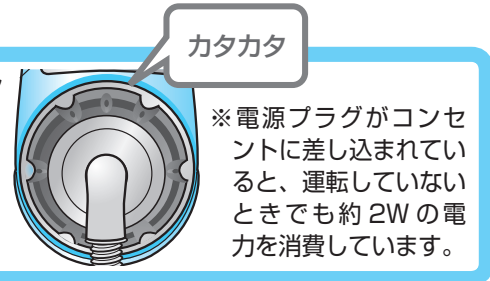
- ホースを持って本体を持ち上げない
・本体・ホースの破損、本体落下による床の傷つきの原因。
- 本体に乗らない
・本体・ホースの破損、けがの原因。
・特に小さなお子さまにご注意ください。
- ライトを直接見たり、人に向けたりしない
・目を痛める原因。

お掃除の前に

お掃除のしかた

1 電源コードをまっすぐ引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

ブリーツフィルターが約1秒自動振動します。
お知らせサイン全消灯



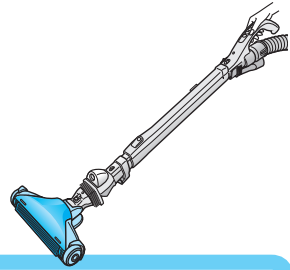
2 お好みメモリ運転入/切を押す（お掃除開始）

3-1 床ブラシでお掃除する

床ブラシを床面に接地させてから
パワー/エコマナでポジションを選んでお掃除する

お知らせ

●床ブラシを床面から浮かせているときは、ポジションの切り替えはできません。浮かせている間の吸込力は変化しますが、床面に接地させると浮かせる前のポジションにもどります。



ポジション

パワー

●いつでも強い吸込力で使いたいとき

お知らせサイン 4個点灯



エコパワー

●じゅうたんなど強い吸込力が必要なとき

お知らせサイン 3個点灯



エコ標準

●ゴミのたまり具合に適した吸込力で掃除するとき
(初めてお使いになるときは、このポジションです)

お知らせサイン 2個点灯



エコマナー

●静かにお掃除したいとき
●吸込力が強く操作が重いとき

お知らせサイン 1個点灯



エコ自動とは

- お掃除する床面に適した吸込力にコントロールします。
- 移動時など床ブラシを持ち上げたときや、床ブラシをはずしたときは、吸込力を弱めてムダな消費電力を抑えます。

4 お好みメモリ運転入/切を押す（お掃除終了）

- 再運転するときは、床ブラシでお掃除していたポジションを記憶しています。
- 運転を止めると、自動でオゾン循環エアークリーニングを行います。(→8ページ)

ボタン（ライト・床ブラシの回転部の操作）

を押すごとに「入⇄切」が切り替わります。

「入」：回転部が回転し、ライトが点灯します。
「切」：回転部の回転が止まり、ライトが消えます。

- 床・たたみで静かにお掃除したいときは「切」にしてください。
- ※「切」のときはエコ自動がはたらかなくなります。
- ゴミが取れにくい場合は「入」にしてください。

手元スイッチ

TOSHIBA

ライト・ブラシ切/入

パワー お好み調整

エコマナ

お好みメモリ運転入/切

3-2 付属品でお掃除する

パワー/エコマナで吸込力を選んでお掃除する

- パワーポジションでお使いのときは4に、エコモードでお使いのときは1に切り替わります。お好み調整ボタンを押すことで吸込力を調整できます。

強

4

パワー/エコマナ

3

パワー/エコマナ

2

パワー/エコマナ

1

吸込力

弱

ふとん用ブラシ

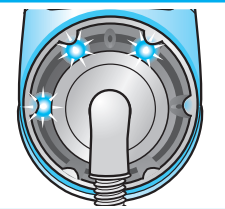
すき間ノズル

ピカッと輝くモーター・ワンタッチ手元ブラシなど

お知らせサイン 4個点滅



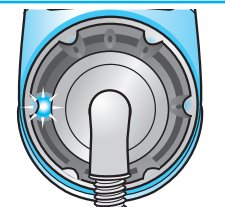
お知らせサイン 3個点滅



お知らせサイン 2個点滅



お知らせサイン 1個点滅



お掃除のしかた

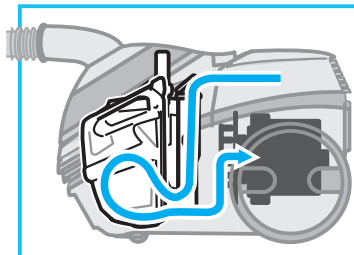
お知らせ

- お掃除中に大きなゴミなどが急激に吸い付いた場合、操作を軽くするために吸込力を弱めます。また、吸い付いたまま約3分間使うと、モーターの加熱を防ぐために運転が止まります。このようなときは、ゴミを取り除いてお好みメモリ運転入/切を押してください。再びお使いになれます。
- 一度に多くの家電製品をお使いになるなどして電源電圧が低いときは、吸込力が弱くなる場合がありますが故障ではありません。

お掃除のしかた (つづき)

5 オゾン循環エアークリーニングを行う

運転を止めると、自動でオゾン循環エアークリーニングを行います



この掃除機は、フィルターに付着した細かいゴミを自動で除去する機能を備えています。またモーターの排気と、オゾン発生器のオゾンにより、カップ内の除菌、脱臭を行います。

※オゾン循環エアークリーニング時、プレーツフィルターの自動振動と同時にプレーツフィルターにエアを送るため、モーターも運転します。

※プレーツフィルターの目詰まり具合及びダストカップのゴミのたまり具合により、オゾン循環エアークリーニングの時間が異なります。

※オゾン循環エアークリーニングを止めたいときは **運転入/切** を押すと止めることができます。

手元スイッチ **お知らせサイン** 全消灯

運転入/切 を押す

オゾン循環エアークリーニング開始

お知らせサイン 交互に点滅

オゾン循環エアークリーニング開始

運転停止時に

運転入/切 を長く押す (オゾン循環エアークリーニング ※約1分間)

●再度 **運転入/切** ボタンを押すと停止します。

※ダストカップがゴミでいっぱいになった場合、分離室やネットにゴミが付着している場合など、本体の温度が高くなったときは、保護回路がはたらき、オゾン循環エアークリーニングの時間が約10秒になる場合があります。その場合は、ゴミを捨て、付着したゴミを取り除いてください。(→12~15ページ)

お願い
●オゾン循環エアークリーニングは繰り返し行わないでください。(内部の温度が上昇し、保護装置がはたらく原因)

手元スイッチ **お知らせサイン** 交互に点滅

運転入/切 を長く押す

オゾン循環エアークリーニング開始

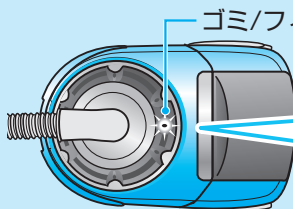
お知らせサイン 交互に点滅

オゾン循環エアークリーニング開始

ゴミ/フィルターサイン フィルターお手入れロボの目詰まりを「ゴミ/フィルターサイン」が点滅でお知らせします。

ゴミ/フィルターサインの確認方法 (ポジションを **4** にして確認してください)

ゴミ/フィルターサインの点滅を確認したい場合は、ホース先端を約10秒間密閉してください。このときにゴミ/フィルターサインが点滅すれば正常に機能しています。

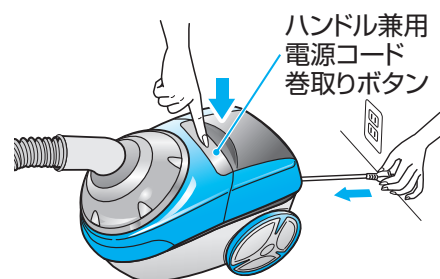


ゴミ/フィルターサイン
ゴミ/フィルターサインが赤く点滅したら、フィルターお手入れロボをお手入れしてください。(→14~15ページ)

お願い
定格15A以上のコンセントを単独でお使いください。延長コードを使ったり、他の家電製品と同じコンセントでお使いになると電源電圧が下がり、ゴミ/フィルターサインが早く点滅する場合があります。

6 お掃除が終わったら電源プラグをコンセントから抜く

- 電源プラグを持ちながら、ハンドル兼電源コード巻取りボタンを押し電源コードを巻き取る。巻き取れないときは、電源コードを1~2m引き出して、再度巻き取る。
- 運転停止直後は、電源プラグが熱くなっていることがありますのでご注意ください。



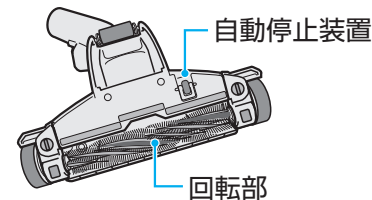
付属品の使いかた

警告 床ブラシ・床ブラシの回転部・自動停止装置など底面や、本体の排気口付近には触れない手など、けが・やけどの原因。特に小さなお子さまにご注意ください。

床ブラシ (回転部)

自動停止装置がついています。床ブラシを床面に置くと回転部が回転し、床面から浮かすと、安全のため回転部が止まります。

- 床ブラシは床面にゆっくりとおろしてご使用ください。落とすように使用すると、自動停止装置が動き、回転部の回転が止まる場合があります。
- じゅうたんの種類によっては、回転部の回転が止まる場合があります。(ホットカーペット・毛足の長いもの・毛の密度の高いもの) このようなときは運転を止め、再び **運転入/切** を押してお使いください。
- 床ブラシを振ると、「カラン」と音がしますが、故障ではありません。(自動停止装置の作動音)

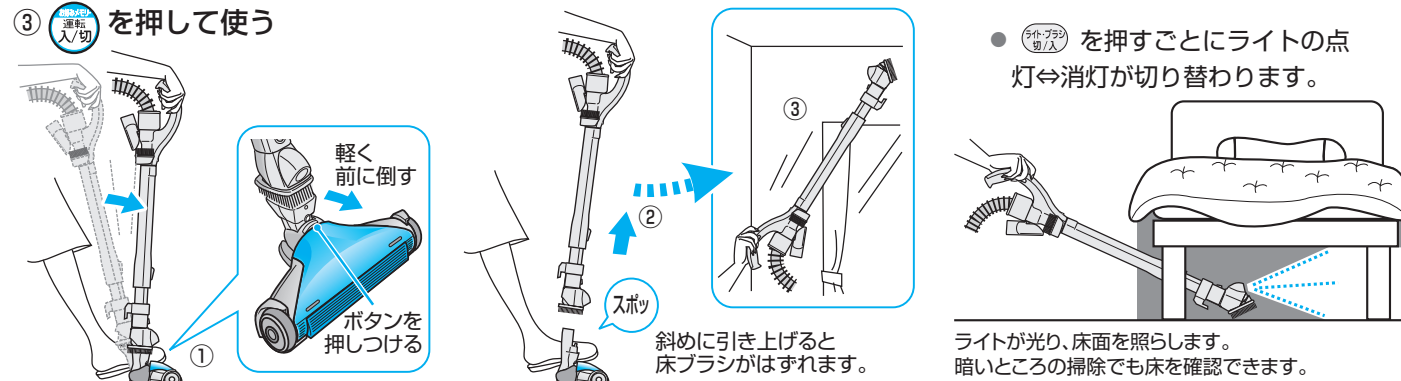


お願い
●表面が固く、凹凸のあるコンクリート床などで使わないでください。床ブラシ裏側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗して、床・たたみ・じゅうたんに傷をつける場合があります。
●お掃除前に、車輪・ブラシ起毛布が摩耗していないか、点検してください。摩耗している場合は床ブラシを使わずに、お買い上げの販売店を通じて新しいもの(有料)と交換ください。

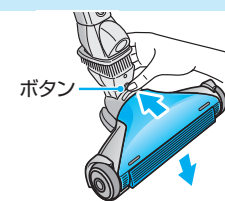
ピカッとどこでもブラシ

注意 ライトを直接見たり人に向けたりしない目を痛める原因。

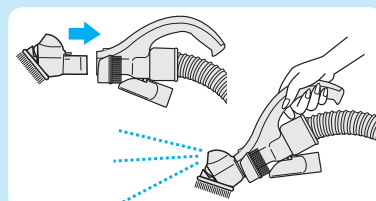
- ① **運転入/切** を押して運転を止め、床ブラシを足で軽く押さえる
- ② 延長管を前に倒しながら、グリップを上へ引き上げてはせず
- ③ **運転入/切** を押して使う



●床ブラシは、ボタンを押して手ではずすこともできます。



●ピカッとどこでもブラシは、ホース先端に差し込んで使えます。



お知らせ

- 本体停止時に、ライトがほのかに点灯したり、瞬間的に光ることがありますが、異常ではありません。
- 本体の運転ポジションを切り替えると、ライトが瞬間的に消えますが、異常ではありません。再び点灯します。

お願い

- 運転中は、床ブラシの着脱をしないでください。
- 無理に延長管を前に倒さないでください。故障の原因になります。
- ピカッとどこでもブラシ(ブラシ毛部を除く)は水洗いしないでください。(→13ページ)
- 床に強く押しつけないでください。傷をつける場合があります。

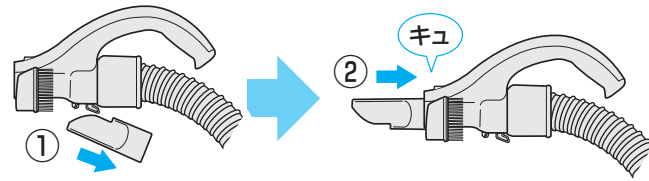
付属品の使いかた (つづき)

すき間ノズル

※ を押し、お好みの吸込力でお使いください。(通常は 1 2 をお使いください)

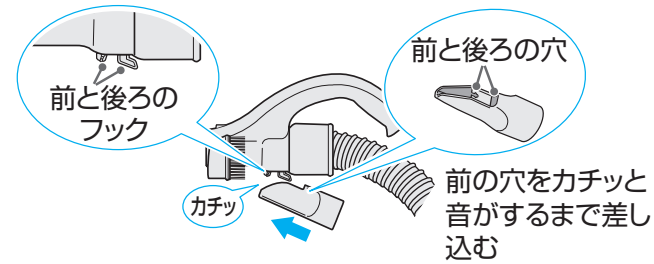
セットするときは

- ①すき間ノズルを矢印の方向へスライドさせてははずす
- ②ホース、または伸縮延長管の先端にしっかりねじ込む



収納するときは

すき間ノズルを矢印の方向へスライドさせ、前と後ろの穴を手元スイッチの裏側のフックに差し込む



お知らせ

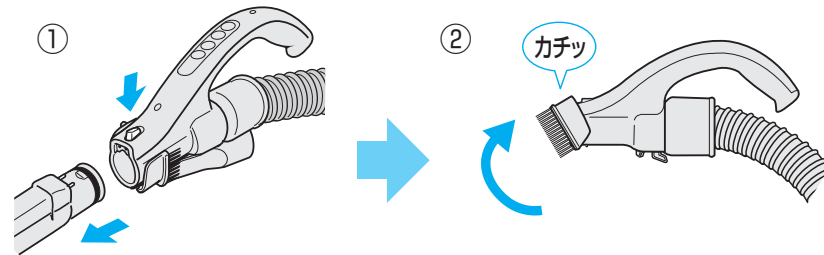
- 収納状態でもすき間ノズルは衝撃によりはずれることがあります。
- 4 で使用すると、保護装置がはたらくことがあります。また、急激にホースが縮むことがあります。

お願い

- 床などに使わないでください。傷をつけることがあります。
- 20分以上続けて使用しないでください。モーターに負担がかかります。
- すき間ノズルをフックから無理にはずさないでください。フックが変形して収納できなくなります。

ワンタッチ手元ブラシ

- ①伸縮延長管をははずす (ボタンを押しながらはずす)
- ②ワンタッチ手元ブラシを回転させてホースの先端にしっかりはめる



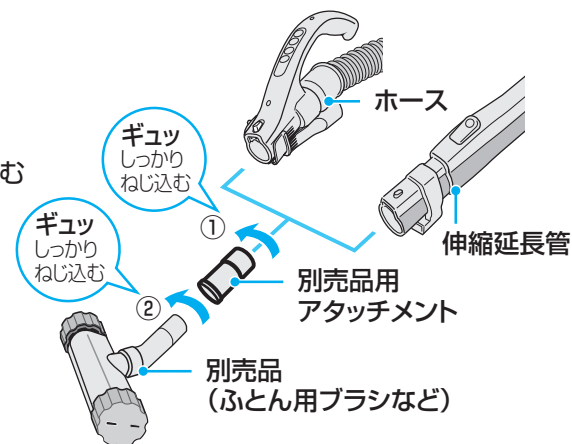
お願い

- 床などに強く押しつけないでください。傷をつけることがあります。

別売品用アタッチメント

別売品のブラシなどを使う場合は、付属の「別売品用アタッチメント」をお使いください。

- ①伸縮延長管またはホースに別売品用アタッチメントを差し込む
- ②別売品用アタッチメントに別売品 (ふとん用ブラシなど) を差し込む



お掃除のコツ

大きめの紙片や包装用フィルムなどは、お掃除の前にあらかじめ拾っておきましょう。ホース・伸縮延長管・床ブラシの風路に詰まる場合があります。

じゅうたんのお掃除

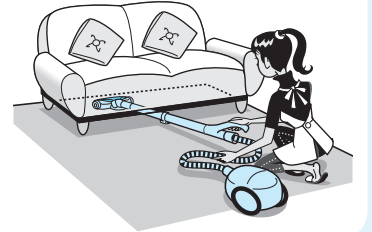
毛足の長いじゅうたんは「パワー」または「エコパワー」で、吸込力が強く操作が重いときは「エコマナー」で使う

新しいじゅうたんは、ダストカップが遊び毛でいっぱいになりますが、使っている内に遊び毛は徐々に少なくなります。



低いところのお掃除

手元を下げる
より奥までお掃除するときは手元をひねる



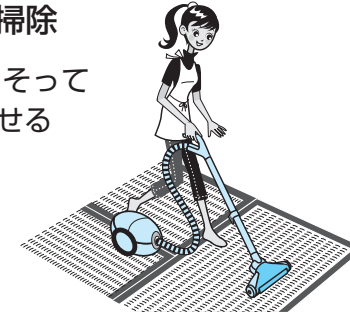
壁際や狭いところのお掃除

手元をひねり床ブラシの向きを変える
床に強く押しつけないでください。傷をつけることがあります。



たたみ、床のお掃除

たたみ目、板目にそって片手で軽くすべらせる (傷つき防止)

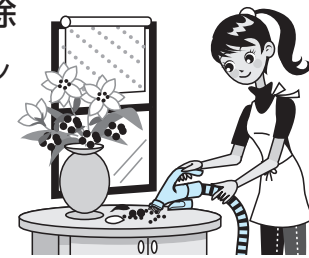


お願い

- 狭いところや低いところのお掃除をするときは、スタンドストッパーが床面、家具などにあたらないように注意してください。

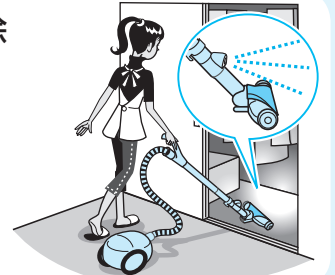
机や棚の上のお掃除

ワンタッチ手元ブラシを使う



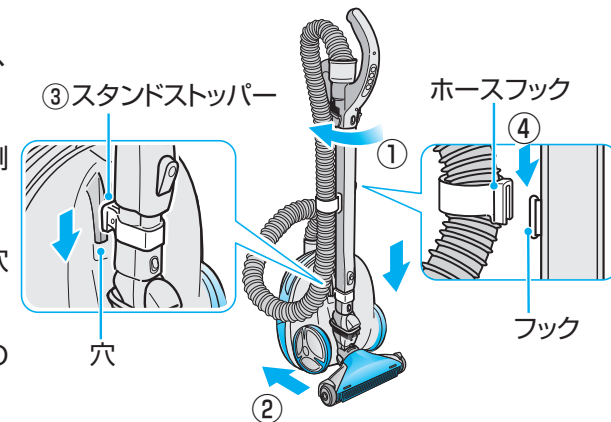
暗いところのお掃除

ピカッとどこでもブラシで床を確認する

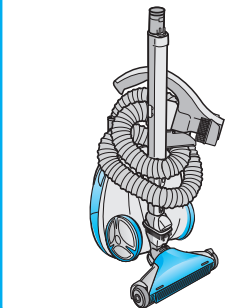


本体の収納のしかた (スタンド収納)

- ①伸縮延長管を縮めて一回転させ、ホースを巻き付ける
- ②床ブラシを滑らせながら本体側に引く
- ③スタンドストッパーを本体の穴に差し込む
- ④ホースフックを伸縮延長管のフックに引っ掛ける



ホースの握り部ははずすとより低くなります。



お願い

- 収納状態で持ち運ばないでください。スタンドストッパーがはずれることがあります。
- 標準付属品の床ブラシを取り付けて、収納してください。それ以外 (別売品など) で収納状態にすると、スタンドストッパーがはずれることがあります。

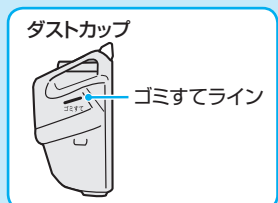
ゴミの捨てかた

吸引力を持続させるために、お掃除が終わったらこまめにゴミを捨てましょう。

■ ゴミすてラインを越えてゴミをためないでください

● 分離室にゴミがたまり、吸引力が低下します。

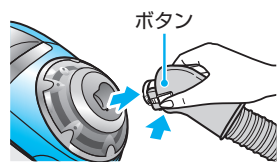
ゴミの種類によっては、ゴミすてラインまでゴミがたまる前に吸込力が弱くなることや、ゴミセンサーが働くことがあります。このようなときは、ダストカップやフィルターお手入れロボをお手入れしてください。



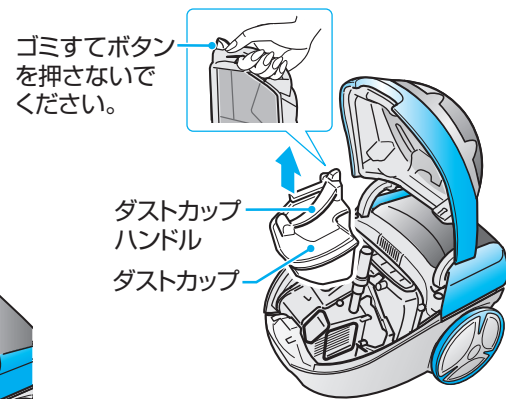
※ゴミを捨てる前には、を押して運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1 ダストカップを取り出し、ゴミを捨てる

① ボタンを押しながらホースをはずす

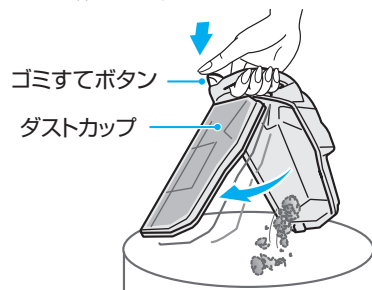


③ ダストカップハンドルを持って、ダストカップを取り出す

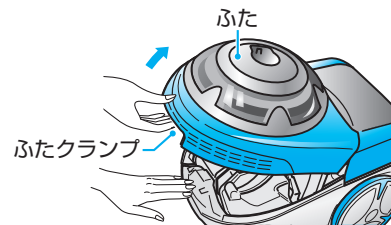


④ ゴミすてボタンを押し、中のゴミを捨てる

- ダストカップが入る大きめの紙袋やポリ袋、ゴミ容器に捨ててください。
- ふたが開かない場合は少し傾けてください。



② 本体を押さえ、ふたクランプを押しながらふたを開ける

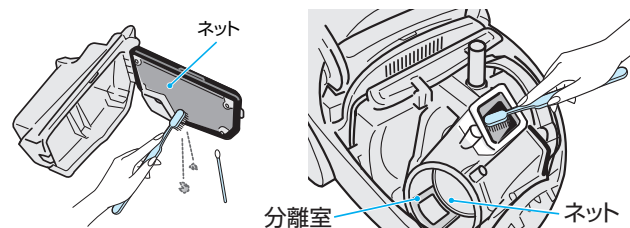


お願い

- 本体からダストカップを取り出すときは、ゴミすてボタンを押さないでください。ゴミがこぼれます。
- ダストカップのふたは、手で無理に開けないでください。必ずゴミすてボタンを押してください。

2 ネットや分離室、分離室のネットのゴミを取り除く

ゴミが付いているときは、使い古しの歯ブラシや綿棒などで取り除く

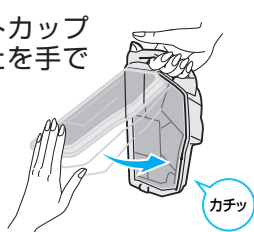


お願い

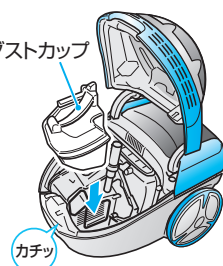
- ゴミを捨てるときに分離室のネットを確認し、付いているゴミを取り除いてください。分離室の汚れが取り除きにくいときは、フィルターお手入れロボを取り出し、お手入れしてください。そのままお使用になると吸引力が下がり、ゴミ/フィルターサインが点滅します。
- ネットは毛の硬いブラシで洗ったり、強く押し洗ったりしないでください。(破損の原因)
- 誤って液体やぬれたゴミを吸い込んだときや、ゴミを捨てて分離室やネットに付着したゴミを取り除いてもゴミ/フィルターサインが点滅する場合は、プリーツフィルターのお手入れをしてください。(フィルターの目詰まり、異臭の発生、故障の原因)

3 ダストカップを本体へ戻す

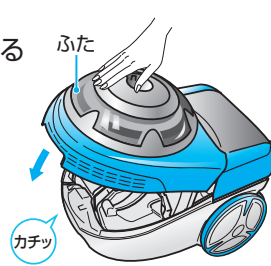
① ダストカップのふたを手で戻す



② ダストカップを本体にはめ込む



③ ふたを閉める



お手入れ



警告



本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ(回転部、お手入れカバーを除く)・ピカッとどこでもブラシ(ブラシ毛部を除く)は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因。

性能・品質を保つために、次のことは守ってください

- お手入れに、ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤などを使わないでください。また、洗濯機で洗わないでください。(ヒビ割れ・変色・色落ちの原因)
- 毛の固いブラシで洗わないでください(傷つきの原因)
- 暖房器具・ドライヤーなどで乾かさないうでください。(ヒビ割れ、変形の原因)
- ぬれたままで使わないでください。乾燥時間の目安は日陰の風通しの良い場所で約1日(24時間)です。(故障の原因)

※お手入れの際は、を押して運転を止め、電源プラグをコンセントから抜き、ホースをはずしてください。

本体・付属品

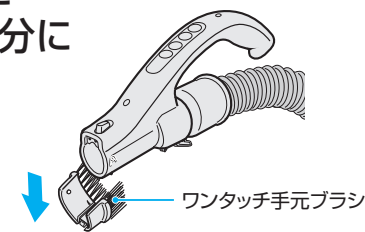
…汚れが気になるとき

水または食器洗い用中性洗剤をふくませた布でふく

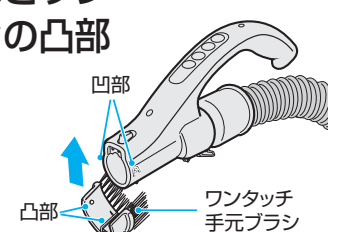
ワンタッチ手元ブラシ

…汚れが気になるとき

1 下に引き抜き
水で洗い、十分に
乾燥させる



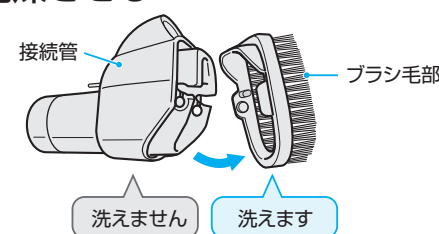
2 ホース先端の凹部とワン
タッチ手元ブラシの凸部
をあわせてはめる



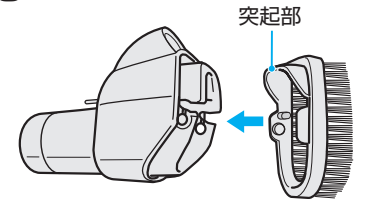
ピカッとどこでもブラシ

…汚れが気になるとき ブラシ毛部は、はずして水洗いできます。

1 接続管を持ち、ブラシ毛部を前方へ軽くひねりながらはずし、水で洗い、十分に乾燥させる



2 ブラシ毛部の突起部がある方を上にして、接続管にかけてカチッと音がするまではめ込む



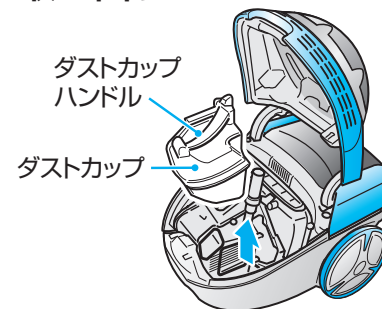
お願い

- 接続管は、水洗いしないでください。

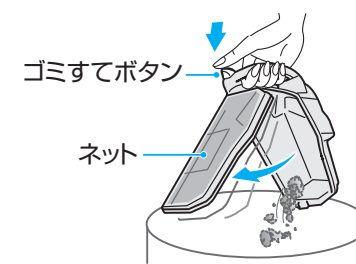
ダストカップ

…汚れが気になるとき

1 本体からダストカップを取り出す



2 ゴミすてボタンを押し、中のゴミを捨てる



3 水で洗い、十分に乾燥させる



お手入れ (つづき)

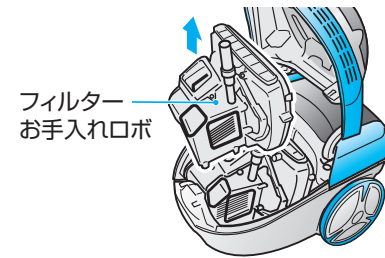
フィルターお手入れロボ …ゴミ/フィルターサインが点滅したり、吸込力が弱くなったと感じたとき

※お手入れの際は、本体からダストカップを取り出し、ゴミを捨ててください。

通常のお手入れ (分離室)

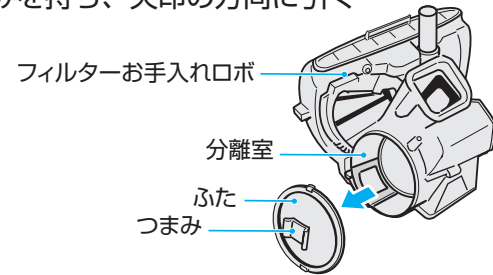
- 月に1度を目安に分離室の点検をして、ゴミがある場合は取り除いてください。

1 フィルターお手入れロボを取り出す
本体を押さえて、矢印の方向に引き出す



2 分離室のふたをはずす

つまみを持ち、矢印の方向に引く

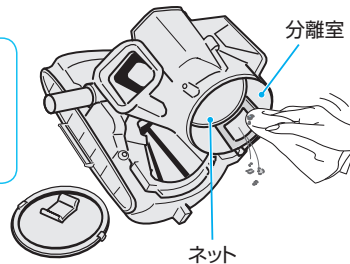


3 ネットに付いたゴミ、中にたまったゴミを取り除く

ネットについているゴミは使い古しの歯ブラシや綿棒またはティッシュなどで取り除く

お願い

- 分離室のネットは強く押さないでください。(破損の原因)

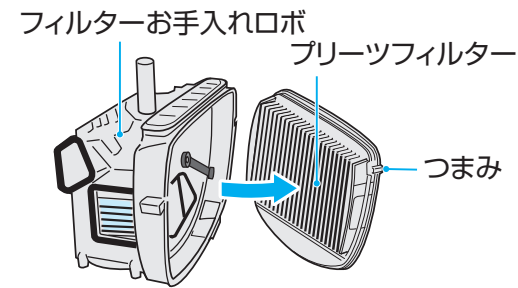


通常のお手入れはここまでです。フィルターお手入れロボを本体にセットしてください。(→15ページ、手順7)

通常のお手入れを行っても、ゴミ/フィルターサインが点滅した場合は、4からのお手入れも行ってください。

ブリーツフィルター・フィルターお手入れロボのお手入れ

4 ブリーツフィルターをはずす
つまみを持ち、矢印の方向に引き抜く

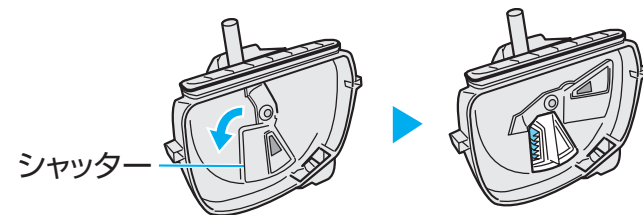


お願い

- ブリーツフィルターは、強く引っ張らないでください。(破損の原因)

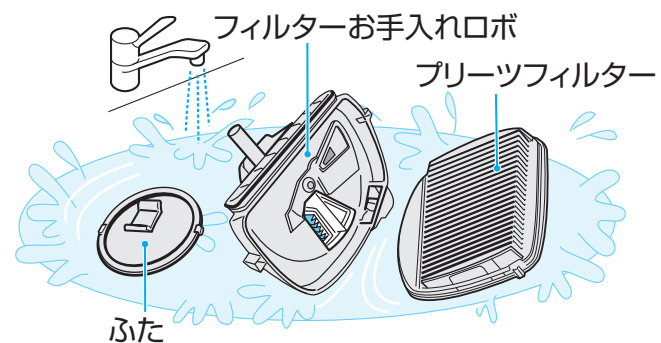
5 フィルターお手入れロボ、ブリーツフィルターをそれぞれ水洗いする

- 洗う前にフィルターお手入れロボのシャッターを矢印の方向にまわして開けてください。



シャッター閉めた状態 シャッター開けた状態

- 容器に水をため、つけ置き洗いとゴミが落ちやすくなります。



お願い

- ブリーツフィルターは、歯ブラシや綿棒などで洗わないでください。(破損の原因)

警告



本体内部のギアには触れない

手など、けが・やけどの原因。特に小さなお子さまにはご注意ください。

右のことは守ってください

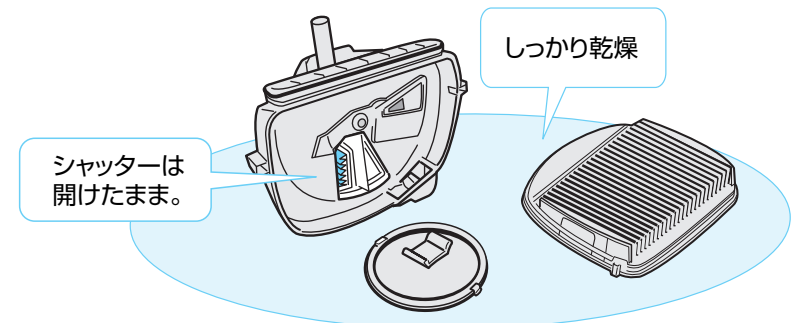
性能・品質の保証ができなくなります。

- 洗剤・漂白剤などを使わない。
- 洗濯機で洗わない。
- 暖房器具・ドライヤーで乾かさない。

6 十分に乾かす

フィルターお手入れロボは、シャッターを開け、ブリーツフィルターが入っていた面を下にして乾かす

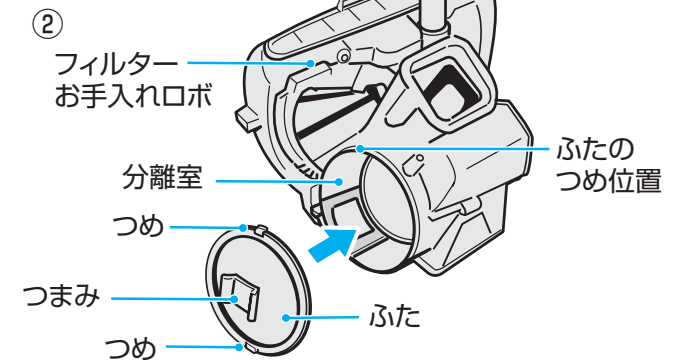
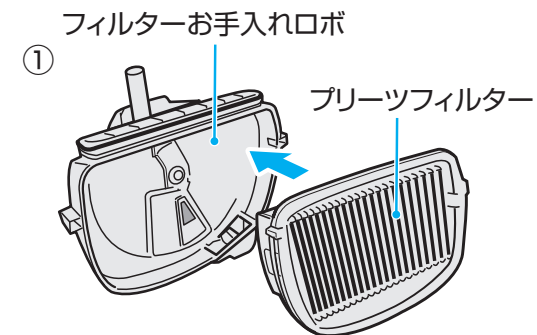
- 乾燥時間は日陰の風通しの良い場所で、約1日(24時間)が目安です。



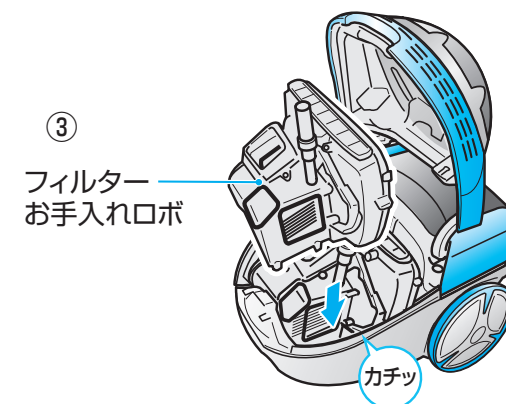
7 フィルターお手入れロボを本体にセットする

① フィルターお手入れロボにブリーツフィルターをセットする

- シャッターは開いていても閉まっても取り付けられません。



③ 本体にカチッと音がするまではめ込む



お願い

- お手入れ後は、必ず十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままご使用になるとフィルターの目詰まりや異臭の発生や本体の故障の原因になります。
- ブリーツフィルター・フィルターお手入れロボは必ず取り付けてください。(故障の原因)(ブリーツフィルターを付け忘れると運転できません。)

お掃除の後

お手入れ (つづき)



警告



本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ(回転部・お手入れカバーを除く)ピカッとどこでもブラシ(ブラシ毛部を除く)は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因。

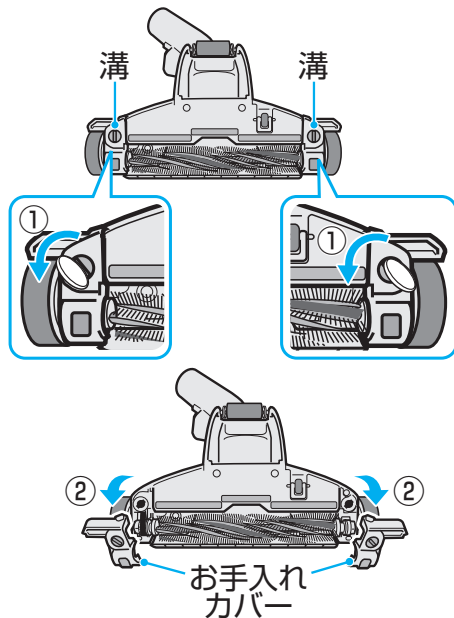
床ブラシ

…週に1・2度点検を!

- お掃除の後に点検し、回転部や車輪にゴミがからんでいるとき、汚れが気になるときは、お手入れしてください。回転部にゴミがからむと、回転部が回らなくなります。
- 車輪にゴミがたまったらそのまま使うと車輪が回らず、床・たたみを傷つけることがあります。

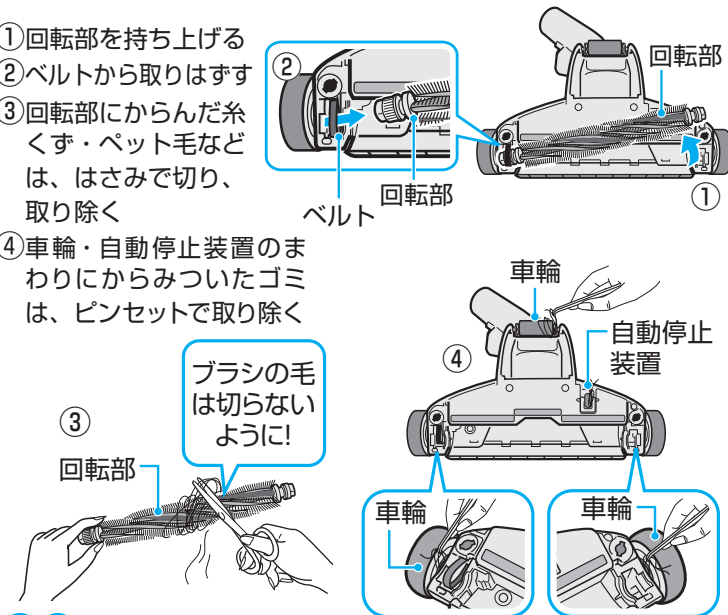
1 裏返してお手入れカバーをはずす

- ①溝にコインなどを入れ、「ひらく」の位置に合わせる
- ②お手入れカバーの後ろ側を持ち上げ、前方向に引き抜く



2 回転部をはずし、ゴミを取り除く

- ①回転部を持ち上げる
- ②ベルトから取りはずす
- ③回転部からんだ糸くず・ペット毛などは、はさみで切り、取り除く
- ④車輪・自動停止装置のまわりからみつけたゴミは、ピンセットで取り除く



お願い

●床ブラシの風路内にゴミがたまっていると、ゴミ/フィルターサインが点滅する場合があります。使い古しの割りばしなどで取り除いてください。

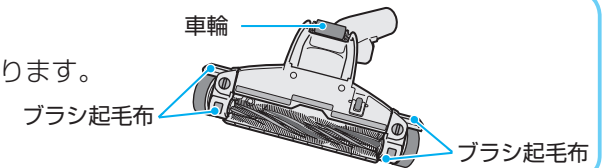


性能・品質を保つために、次のことは守ってください

- お手入れに、ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤などを使わないでください。また、洗濯機で洗わないでください。(ヒビ割れ・変色・色落ちの原因)
- 毛の固いブラシで洗わないでください(傷つきの原因)
- 暖房器具・ドライヤーなどで乾かさなないでください。(ヒビ割れ、変形の原因)
- ぬれたままで使わないでください。乾燥時間の目安は日陰の風通しの良い場所で約1日(24時間)です。(故障の原因)

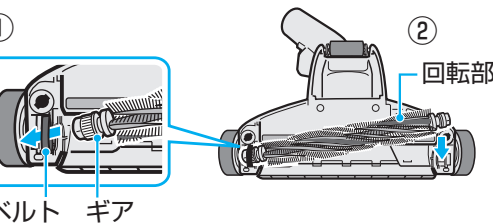
●車輪・ブラシ起毛布の摩耗の点検を!

摩耗していると、床・たたみ・じゅうたんを傷つけることがあります。摩耗しているときは、床ブラシを使わないでください。



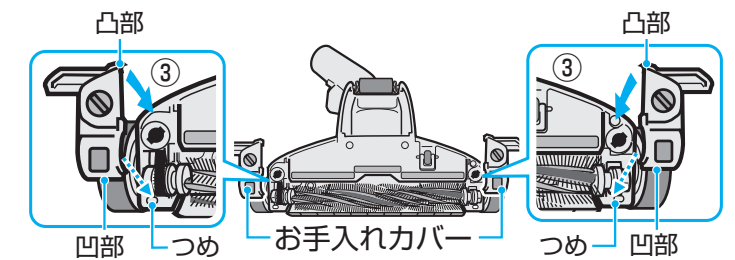
3 回転部・お手入れカバーを水で洗い、十分乾いたことを確認し取り付ける

- ①ギアにベルトをかける
- ②回転部を取り付ける

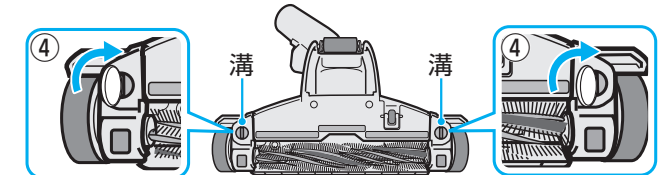


●ベルトは確実にギアにかけてください。かかっていないと回転部が回りません。

- ③お手入れカバーの凹部をつめにつめ、凸部を矢印の方向に倒す



- ④溝にコインなどを入れ、「しめる」の位置に合わせる



お願い

- 回転部・お手入れカバー以外は水洗いしないでください。(故障の原因)
- 回転部の軸受部には注油しないでください。(回転不良の原因)

抗菌の効果

部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	試験結果	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称
床ブラシ	(財)日本化学繊維検査協会	JIS L 1902	99%以上	繊維に付着	回転部のブラシ毛
ゼオライトフィルター	(財)日本食品分析センター	JIS L 1902	99%以上	繊維に付着	不織布
プリーツフィルター	(財)日本紡績検査協会	JIS L 1902	99%以上	繊維に付着	不織布
フラノイドフィルター*	(財)日本食品分析センター	JIS Z 2801	99%以上	繊維に含浸	不織布

*その他の効果

抗ウイルスについて: 試験機関 / (財)日本食品分析センター、試験方法 / ウイルスに対する効力試験、試験結果 / 99%以上
抗ダニ・スギ花粉について: 試験機関 / 東京農工大学、試験方法 / ウェスタンブロット法、試験結果 / 99%以上(ダニ) 97%以上(スギ花粉)

オゾン除菌の効果

オゾン除菌は、フィルターお手入れロボ・ダストカップ内に付着した雑菌に対して除菌効果を発揮します。

試験機関名: (財)食品薬品安全センター 除菌の方法: オゾンを含んだ気流
試験方法: 循環風路内にオゾン発生器とガーゼに付着した雑菌を配置し、所定時間運転し、その後ガーゼを取り出し、雑菌の培養を行い、ブランクと比較した試験 試験結果: 99%以上

仕様

電源	消費電力	外形寸法			質量	吸込仕事率	運転音	集じん容積	電源コードの長さ
		長さ	幅	高さ					
100V 50-60Hz 共用	1000W~ 約160W	374 mm	262 mm	245 mm	7.9kg (ホース・ 伸縮延長管・ 床ブラシ含む)	450W~約50W	48dB~ 約43dB	0.4L	5m

手元スイッチ「パワー」にて消費電力1000W、吸込仕事率450W、運転音48dB

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.


本体・床ブラシの回転部が止まったら

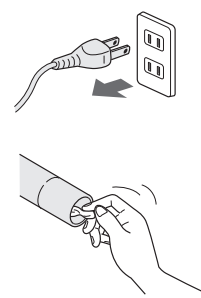
モーターの過熱を防ぐため、本体内部・床ブラシ内部には運転を止める保護装置がついています。次のようなときは、保護装置がはたらきます。お手入れをしてください。

本体の保護装置がはたらくとき

- ダストカップがゴミでいっぱいのまま運転し続けた
砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミなど、吸い込むゴミの種類によっては、ダストカップがいっぱいになる前に、保護装置がはたらくことがあります。
- ホース・伸縮延長管・床ブラシなどにゴミが詰まったまま運転し続けた
- すき間ノズルを使い、運転し続けた
- 夏期など室温が 35℃ を超えるとき
- 吸込口や排気口をふさいで運転し続けた
- ゴミ / フィルターサインが点滅したまま使った

直しかた

- ①手元スイッチの  を押し、電源プラグをコンセントから抜く
- ②ダストカップのゴミを捨てるか、またはホース・伸縮延長管・床ブラシなどに詰まったゴミや排気口などをふさいでいる物を取り除く
- ③涼しい場所におく




約 1 時間後、保護装置が解除され、再び使用できます。

床ブラシの保護装置がはたらくとき

- 回転部（ブラシ）を回転させ、そのまま放置したり、床に強く押しつけた
- 回転部（ブラシ）に異物を巻き込んだ
- ホットカーペットや毛足の長いじゅうたんで使った

直しかた

- ①手元スイッチの  を押し、電源プラグをコンセントから抜く
- ②床ブラシに巻き込んだ異物を取り除く

約 10 分後、保護装置が解除され、再び使用できます。

お困りのときは

修理サービスを依頼する前に

- ご使用中に異常が生じたときは、電源プラグを抜き、約 15 秒後にふたたび差し込んで動作を確認してください。それでも異常が直らないときは、次の点をお調べください。



警告




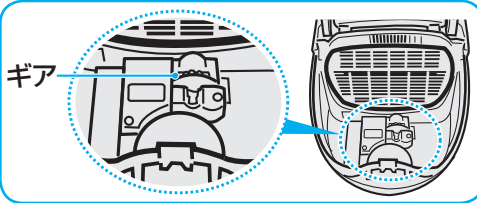



絶対に改造はしない また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご相談を。

このようなときは

調べて、直してください

参照ページ

<p>運転しない</p>  <p>お知らせサイン 全部（緑4個、赤1個）点滅</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ダストカップ・ブリーツフィルターが正しくセットされていません。 →ふたを開いて、ダストカップ・ブリーツフィルターを正しくセットしてください。 ●ギアにゴミが入り込んでいます。 →ゴミを取り除いてください。（必ず、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください） 		12, 14 15
<p>運転しない</p>  <p>ゴミ / フィルターサイン 赤色が点灯</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ダストカップがゴミでいっぱいになっています。 →ゴミを捨ててください。 ※ゴミを捨てないと保護装置がはたらき運転しません。 		12
<p>吸込力が弱い</p>  <p>ゴミ / フィルターサイン 赤色が点滅</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●吸込力が弱くなっています。 		12~17
<p>運転中に止まる</p>  <p>ゴミ / フィルターサイン 赤色が点滅</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の保護装置がはたらいて自動停止しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。 ●ネットにゴミが付着していませんか。 ●ダストカップ・フィルターお手入れ口ポ・ホース・伸縮延長管・床ブラシにゴミが詰まっていませんか。 ●ブリーツフィルターのお手入れを行ってください。 	

このようなときは

調べて、直してください

参照ページ

<p>運転しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●ホースが本体に差し込まれていますか。 →ホースを一回抜いてカチッと音がするまで差し込み直してください。 	6 5
<p>床ブラシ回転部が 回転しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●自動停止装置が働いていませんか。 →床ブラシを一度持ち上げた後、ゆっくり下ろしてください。 ●ブラシ本体とお手入れカバーの間にすき間ができていませんか。 ●回転部のまわりに糸くずがたくさん巻き付いていませんか。 ●回転部のギアからベルトがはずれていませんか。 ●自動停止装置にゴミがからんでいませんか。 ●大きなゴミか、薄い敷物を巻き込んでいませんか。 	9 16 16 16, 17 9 9
<p>電源コードが 巻き取れない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードが片よって巻き取られていませんか。 →1 ~ 2m 引き出して、再度巻き取ってください。 	8
<p>電源コードが 引き出せない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードがからんでいませんか。 →電源コード巻取りボタンを押しながら、「巻き取る」「引き出す」動作を 2 ~ 3 回繰り返してください。 	8
<p>ホースが縮む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●床ブラシに大きなゴミが吸い付いていませんか。 ●ホース、伸縮延長管・床ブラシにゴミが詰まっていませんか。 	9 4.5
<p>排気がおう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●湿ったゴミを吸い込んでいませんか。 ●フィルターを水洗いした後、十分に乾燥しましたか。 ●フィルターが目詰まりしたまま使っていませんか。 	12, 13

それでも異常のある場合は、20 ページの保証とアフターサービスをご参照ください。ご自分での修理は絶対におやめください。（火災・感電・けがの原因）

- 次の場合は異常ではありません。
 - ・本体及び電源コード、排気風が熱く感じられる。（モーターの熱のため）
 - ・ゴミがたまってくると、モーターの回転数が増え音が大きくなる。
 - ・電源プラグを差し込むとき、火花が散ることがある。